

留 衛 監 第 1 6 号

令和 8 年 8 月 1 3 日

留萌南部衛生組合

組合長 益 田 克 己 様

留萌南部衛生組合

監査委員 武 田 浩

監査委員 杉 本 弘



令和 7 年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算審査意見について
地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された令和 7 年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

令和 7 年 度

留 萌 南 部 衛 生 組 合

歳入歳出決算審査意見書

留萌南部衛生組合監査委員

令和 7 年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算審査意見

1 審査の対象

令和 7 年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算

2 審査の期間

令和 8 年 6 月 2 9 日から令和 8 年 8 月 3 日

3 審査の方法

本決算の審査にあたっては、令和 7 年度歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「附属書類」という。）が地方自治法等の関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正かつ確実に行われたか等について、留萌南部衛生組合監査基準に基づき必要な審査を実施するとともに、決算及び決算額の基礎となる証書類に基づいて決算計数の正確性、適法性をただし、予算執行の適否についても審査した。

なお、現金・預金の確認及び証書類の検証については、地方自治法第 2 3 5 条の 2 第 1 項の定めるところにより例月現金出納検査において実施したので、その結果を参考として審査した。

4 審査の結果

令和 7 年度歳入歳出決算書及び附属書類は、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されており、決算の計数については関係諸帳簿等の諸書類と照合検算して審査した結果、正確であることを認めた。

5 審査の概要

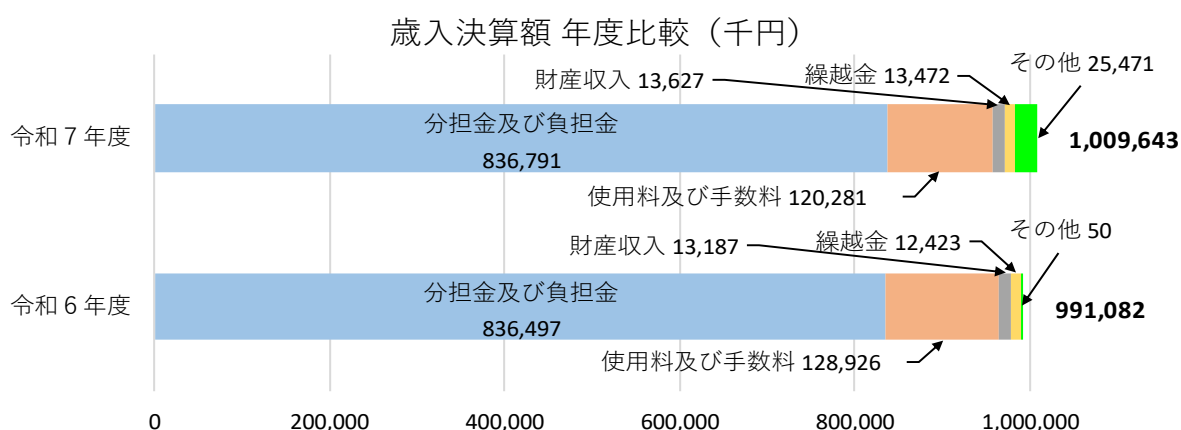
本会計の決算は、資料 1 「歳入歳出決算状況」に示すとおり、予算現額 1, 009, 942, 000 円に対し歳入決算額は 1, 009, 642, 623 円で、予算執行率は 100. 0 %

であり、歳出決算額は992,435,556円で予算執行率は98.3%、歳入歳出差し引きにおいて17,207,067円の剰余金が生じたため翌年度へ同額を繰り越し、決算を了したところである。

6 歳入の決算状況

資料1(1)歳入に示すとおり、予算現額1,009,942,000円に対し調定額及び収入済額は、同額の1,009,642,623円で予算執行率は100.0%である。

なお、前年度決算額との比較では18,560,271円（1.9%）の増加であり、款別に比較すると次のとおりである。



※科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

第1款 分担金及び負担金

予算現額836,791,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の836,791,000円で予算執行率は100%である。

決算額は前年度（836,496,600円）と比較して294,400円（0.0%）増加した。

各市町の内訳は、留萌市が543,372,000円で前年度比1,055,776円の増、増毛町が153,842,000円で前年度比1,585,170円の減、小平町が139,577,000円で前年度比823,794円の増である。

この負担金は、「当組合負担金割合及び徴収条例（施設毎に制定）」に基づく管理運営費、建設費、公債費等に対する負担金で、各市町の負担内訳は施策の実績報告書のとおりである。

第2款 使用料及び手数料

本款は、当組合衛生センター使用条例、火葬場条例及び行政財産使用料に関する条例に基づいて使用者から徴収する使用料と、廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づくごみ処理手数料からなり、予算現額121,129,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の120,281,432円で、予算執行率は99.3%である。

なお、決算額は前年度（128,925,822円）と比較して8,644,390円（6.7%）減少した。

第3款 財産収入

本款は、物品売払収入で、予算現額13,077,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の13,627,043円で、予算執行率は104.2%である。

なお、前年度決算額（13,186,530円）と比較して440,513円（3.3%）増加した。

第4款 繰越金

本款は、令和6年度歳入決算額（991,082,352円）と歳出決算額（977,609,873円）との差引残高13,472,479円を繰越金として受け入れたものである。

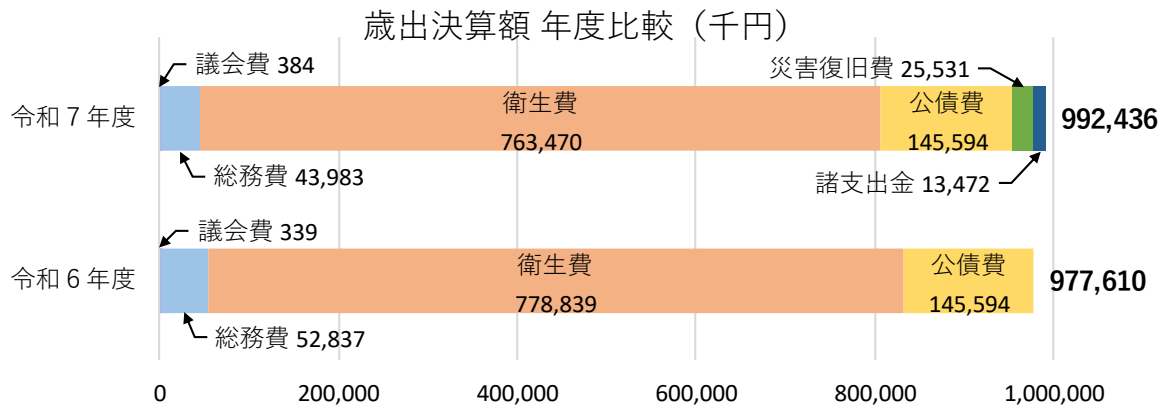
第5款 諸収入

本款は、予算額25,471,000円に対し、一般廃棄物最終処分施設が火災により損傷したため、外壁等の復旧工事に要した経費の保険金収入として25,470,669円の収入があったものである。

7 歳出の決算状況

資料1(2)歳出に示すとおり、予算現額1,009,942,000円に対し、支出済額は992,435,556円で決算を了した。予算執行率は98.3%で、不用額は17,506,444円である。

なお、前年度決算額（977,609,873円）との比較では14,825,683円（1.5%）の増加であり、款別に比較すると次図のとおりである。



※科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

第 1 款 議 会 費

予算現額744,000円に対し、支出済額は歳出総額の0.0%に相当する384,220円（執行率51.6%）で、不用額は359,780円である。

なお、前年度決算額（339,476円）と比較すると44,744円（13.2%）の増加である。

第 2 款 総 務 費

予算現額45,608,000円に対し、支出済額は歳出総額の4.4%に相当する43,983,385円（執行率96.4%）で、不用額は1,624,615円である。

なお、前年度決算額（52,837,181円）と比較すると8,853,796円（16.8%）の減少である。この主な要因は、災害廃棄物処理計画基礎調査業務委託料（9,460,000円）の減によるものである。

第 3 款 衛 生 費

予算現額776,352,202円に対し、支出済額は歳出総額の76.9%に相当する763,470,352円（執行率98.3%）で、不用額は12,881,850円である。

また、前年度決算額（778,839,096円）と比較すると15,368,744円（2.0%）の減少である。この主な要因は、ごみ処理場費の需用費が最終処分施設の中央監視装置更新等により18,348,854円増となったが、ごみ処理場費の委託料が一般廃棄物処理施設整備基本設計等策定業務の減等により30,678,199円減となったことによるものである。

なお、不用額の主な内訳は、次のとおりである。

- ・し尿処理場管理費 需用費 1,715,136円
- ・ごみ処理場管理費 需用費 3,309,188円
- ・ごみ処理場管理費 委託料 5,956,917円

不用額が発生した主な理由は、し尿処理場費の需用費で搬入量の減少による電気使用量の減少、ごみ処理場費の需用費で突発的な修繕が見込みより少なかったことによる減少、ごみ処理場費の委託料で一般廃棄物処理施設整備基本設計等策定業務の基本設計内容変更に伴う減少によるものである。

第4款 公債費

予算現額145,596,000円に対し、支出済額は歳出総額の14.7%に相当する145,594,120円で、不用額は1,880円である。

支出済額の内訳は、一般廃棄物最終処分場建設事業に係る元金償還金(144,502,060円)及び償還金利子(1,092,060円)である。

第5款 予備費

項 別	予 算 額	充 用 額	不 用 額	充 用 率
予 備 費	3,000,000円	362,202円	2,637,798円	12.1%

第6款 災害復旧費

予算現額25,531,000円に対し、支出済額は歳出総額の2.6%に相当する25,531,000円（執行率100%）であり、一般廃棄物最終処分施設の火災により損傷した外壁の復旧、埋立区画の焼損した遮水シートの補修、自動火災報知設備の復旧に要した経費である。

第7款 諸支出金

予算額13,473,000円に対し、支出済額は歳出総額の1.4%に相当する13,472,479円（執行率100.0%）であり、前年度繰越金の返還金である。

8 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、地方自治法施行規則第16条の2に定められた様式で、計数にも誤りがなく正確であると認めた。

9 財産に関する調書

本調書に記載された財産は公有財産及び物品であり、年度中の増減得失、現在高等の状況が明らかにされており、調書に表示された計数について財産台帳と照合確認の結果、正確であると認めた。

10 むすび

本年度の決算状況をみると、歳入決算額は1,009,642,623円で前年度決算額991,082,352円と比較し、18,560,271円の増、歳出決算額は992,435,556円で前年度決算額977,609,873円と比較し、14,825,683円の増加となり、歳入歳出の差引において17,207,067円の剰余金が生じたところである。

歳出増加の主な要因は、一般廃棄物最終処分施設の火災により損傷した箇所の復旧工事に要した経費であり、財政運営は適切になされている。

一方、留萌南部衛生組合が管理する処理施設等は老朽化が激しく、施設の修繕や更新等の費用は増加しているところであるが、さらなる経費削減に取り組み、住民生活のインフラとして安定・継続性を図りながら効率的かつ効果的な財政運営に努められたい。

なお、留萌南部衛生組合では焼却施設の整備を進めているところであるが、構成市町の住民への情報提供や事業内容の周知に努めるなど、事業の透明性を図るとともに、安心、安全な住民生活が継続可能な事業の運営を要望する。

資料 1

令和 7 年度 留萌南部衛生組合歳入歳出決算状況

(1) 歳入

(単位：円・%)

款 別	予 算 現 額 A	調 定 額 B	収 入 済 額 C	予算執行率 C / A	調定対比 C / B	収入済額の 構 成 比	収入済額の予 算現額に対す る増減(△)額	不 欠 損 額	収 入 未 済 額
1 分担金及 び負担金	836,791,000	836,791,000	836,791,000	100	100	82.9	0	0	0
2 使用料及 び手数料	121,129,000	120,281,432	120,281,432	99.3	100	11.9	△ 847,568	0	0
3 財産収入	13,077,000	13,627,043	13,627,043	104.2	100	1.4	550,043	0	0
4 繰越金	13,474,000	13,472,479	13,472,479	100.0	100	1.3	△ 1,521	0	0
5 諸収入	25,471,000	25,470,669	25,470,669	100.0	100	2.5	△ 331	0	0
合 計	1,009,942,000	1,009,642,623	1,009,642,623	100.0	100	100	△ 299,377	0	0

(2) 歳出

(単位：円・%)

款 別	予 算 現 額 A	支 出 済 額 B	翌 年 度 繰 越 額				予算執行率 B / A	支出済額の 構成比	不 用 額	歳入歳出 差 引 額	備 考
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計					
1 議会費	744,000	384,220	0	0	0	0	51.6	0.0	359,780		
2 総務費	45,608,000	43,983,385	0	0	0	0	96.4	4.4	1,624,615		
3 衛生費	776,352,202	763,470,352	0	0	0	0	98.3	76.9	12,881,850		
4 公債費	145,596,000	145,594,120	0	0	0	0	100.0	14.7	1,880		
5 予備費	2,637,798	—	0	0	0	0	—	—	2,637,798		
6 災害復旧費	25,531,000	25,531,000	0	0	0	0	100	2.6	0		
7 諸支出金	13,473,000	13,472,479	0	0	0	0	100.0	1.4	521		
合 計	1,009,942,000	992,435,556	0	0	0	0	98.3	100	17,506,444	17,207,067	